



ASJA News Letter

Vol.27 March/June, 2014



アスジャ・インターナショナル事務局 ASJA (Asia Japan Alumni) International
〒169-0074 新宿区北新宿3-22-7 東京日本語教育センター内
3-22-7, Kita-Shinjuku, Shinjuku-ku, Tokyo 169-0074 JAPAN
TEL: 03-5338-1285 FAX: 03-5338-1286
URL: <http://www.asja.gr.jp> E-Mail: info@asja.gr.jp

かんけいしゃ あべそうり ひょうけいほうもん アスジャ・ASCOJA関係者による安倍総理表敬訪問

へいせい ねん がつ にち もく
【平成26年3月27日(木)】



アスジャ・ASCOJA関係者(各国理事等10名、日本国理事1名、事務総長、団体役員、外務省関係者)が、3月27日総理官邸を訪ね、安倍晋三内閣総理大臣への表敬訪問を行いました。はじめに、齋木外務省国際文化交流審議官より訪問団についての紹介がありました。続いて安倍総理より訪問団への歓迎のご挨拶をいただき、アセアン10か国への歴訪についてのお話がありました。また、アセアン重視の政策、特に「人と人との交流」に重きを置いた政策を行っていくにあたって、留学生が日本で学んだことを母国へ持ち帰り発展に貢献することが「大変素晴らしいことだ」と、アスジャ・ASCOJAの活動の意義についても言及されました。

その後、ゲン・ゴック・ビン ベトナム理事より、アスジャ・ASCOJA関係者の紹介が行われ、さらに平成26年度政府予算でアスジャに対する拠出金が計上され、念願であったアスジャの存続が叶ったことに対する感謝の意が述べられました。最後に安倍総理より、アスジャ・ASCOJA事業を通して、日本とアセアンの友好関係が一層深まることへの期待が述べられました。また、安倍総理のご厚意により、総理と各国理事ひとりずつとの記念撮影が行われました。

平成25年度国際理解講座(タイ・カンボジア)

へいせい ねん がつようか ど
【平成26年2月8日(土)】



◆講師学生◆

タイ：平成22年度4月期アスジャ奨学生
平成23年度10月期アスジャ国費留学生
平成25年度4月期アスジャ国費留学生
カンボジア：平成23年度4月期アスジャ国費留学生
平成24年度4月期アスジャ国費留学生

国際機関日本アセアンセンターが主催する「日アセアン学生交流イベント2014」が、平成26年2月8日(土)、日本アセアンセンターのアセアンホールにて開かれました。このイベントに合わせて、アスジャは、タイとカンボジアの留学生による国際理解講座を行い、講師として、タイのアスジャ奨学生1名、タイの国費留学生2名、カンボジアの国費留学生2名が参加しました。また、タイの元アスジャ奨学生1名も応援にかけつけました。初めに、東南アジア及び日本の学生が「学校生活と卒業」というテーマでそれぞれの国を紹介するプレゼンテーションを行い、次に、日アセアン貿易ゲームが行われました。また、最後に交流会が開かれ、集まった日本人及び東南アジアの学生達の間で交友が深められました。

アスジャのカンボジアの学生からは、カンボジアの、特に高校生の生活と卒業について発表がありました。カンボジアでは高校の卒業試験が大学の入学試験を兼ねていること、また、現在、貧しい家庭でも子供の教育に重きを置き、苦勞してでも子供を大学に出す傾向があることなど、カンボジアの現在の様子がわかりやすく紹介されました。

アスジャのタイの学生からは、通学や始業前のお祈り、昼食、放課後の様子など、タイの一般的な学校生活が紹介されました。特に大学生活については、先輩、後輩の関係が非常に大切なこと、大学にも制服があること、大学の卒業式は親族が揃って盛大に祝うこと、国立大学の卒業式では卒業証書の授与が王族から行われることなどの紹介があり、参加者は大変関心を持って聞き入っていました。



学生の感想



タイ男子学生

2013年度国際理解講座では、私はタイチームの三人組で「タイの学校生活と卒業」についてお客さんに伝えられました。発表が終わった後、交流会があって、その交流会でお客さんに発表したものが面白かったと褒められました。また、この会でもカンボジアの学校生活と卒業についての発表を聞きました。やはり学校生活のようなものまでも東南アジアの文化は共通部分があるということを学びました。

タイ女子学生

今回の活動で、タイの教育制度を他の国の皆さんに紹介することができ、また、東南アジアに関心を持っている人と友達になることができた。元々東南アジアに関心を持っている方が多かったため、自分の国についていろいろ

質問をされて交流のいい経験だった。さらに、イベントの流れもとても良かったと思う。発表の後に、交流会の時間やグループになって一緒にゲームをしたりする時間がありとても面白かった。特に貿易のゲームに関心を持った。私のグループはグループ内の相談時間が長すぎてゲームの時間内に勝てなかったが、活動自体がとても面白くて本当に勉強になった。大雪の中なのに、たくさんの人が来てくださったことに本当に感動した。

タイ女子学生

私にとって初めてのアスジャの国際理解講座だった。学生が多く集まる、カジュアルなイベントだった。発表テーマは「タイの学生の生活」なので、タイの学校生活の色々な特徴を日本人や外国人に伝えられた。学生たちがすごく仲良くしてくれて色々な友達ができた。日本人のみならず、東南アジアの国や他の国出身の方々にもお会いした。皆さんが優しく日本語を話してくださり、理解しやすく、日本・東南アジアに関することをもっと深く分かるようになった。また、イベントの後半には日アセアン貿易ゲームを通じて、チームワークと仕事の分担についてよく勉強になったと思う。

カンボジア男子学生

二月八日に日本アセアンセンターでカンボジアの学生、特に高校生の生活と卒業について発表した。カンボジアの教育制度と塾の文化も説明した。また、少し硬い話題だが、都会の高校の学生の生活と田舎の高校の学生の生活についても発表した。発表した後、「カンボジア人は将来自分がなりたいものになれない理由はお金の問題ですか」と聞かれた。私の答えは「それは一つの理由です。他の理由もあります」だった。

その日は、何人かの日本人の学生に会って、皆東南アジアに非常に興味があると聞いた。彼らは若い、文化交流やビジネスを通じて、日本とASEAN諸国の橋渡しをしたいと聞いた。私は彼らとのビジネスのようなゲームをした。やはり、日本人はチームワークが非常に強い。彼らが若くても、ビジネスのようなことにうまく対処することができた。色々勉強になった。

カンボジア女子学生

The program was interesting and useful. There were presenters from ASEAN countries and Japan explaining about graduation of their country. It increases my understanding about education system in their countries and helps me identify the differences between those to Cambodia. In addition, there was a trade game activity that requires all people to participate learning how to do trade between Japan and ASEAN countries. It was a great game for reflection. I was able to experience and see the interactions among members representing each country communicate and make deal using their resource to make their economy going forward.

だい かい けんしゅうがっしゅく

第14回アスジャ研修合宿

へいせい ねん がつ にち きん がつふつか にち

【平成26年2月28日(金)～3月2日(日)】

がつ にち きん がつ にち にち はくみっか にってい だい かい けんしゅうがっしゅく こくりつじよせいきょういくかいかん

2月28日(金)から3月2日(日)の2泊3日の日程で、第14回アスジャ研修合宿を国立女性教育会館(さいたまけん ひ き ぐ ん らんざんまち おこな さんかしゃずう めい しょうがくせい めい こくひりゅうがくせい めい 埼玉県比企郡嵐山町)で行いました。参加者数は18名(アスジャ奨学生2名、アスジャ国費留学生9名、そつぎょうせい めい じ む そうちよう しょういん めい ひじょうきんしよくいん めい 卒業生4名、事務総長、アスジャ職員1名、アスジャ非常勤職員1名)でした。

がつ にち

【2月28日】

ご ご ちきゅうかんそく おとず じんこうえいせい ちきゅうかんそく せつび どう かたがた せつめい う

午後は、JAXA地球観測センターを訪れ、人工衛星による地球観測の設備を、同センターの方々の説明を受けながら見学しました。一般には見ることでない同センター内部の設備も特別に見学し、陸域観測技術衛星「だいち」によって得られた東南アジア各国の衛星写真を見て、学生達は大変喜びました。

「だいち」の他にも、様々な種類の地球観測衛星について教わり、また、それらからデータを受信するアンテナも実際に見学しました。

学生達は、衛星から得られるデータが人々の生活に関わる幅広い目的のために利用されていること、また、データの収集に国際的な協力もなされることを学びました。

今年度のアセアン料理交流会では、インドネシアのパダン風串焼き、フィリピンのチキンカレー、タイのグリーンカレー、ミャンマーのビルマ風春雨スープ、カンボジアのカボチャのデザート・スープを準備し、国立女性教育



アンテナを見上げる様子



アセアン料理交流会の様子



てまり作り体験の講師のみなさんと



和太鼓体験の様子

かいかん しょくいん かたがた よくじつ たいけんかつどう せんせいがた ごうけい めい むか こうりゅうかい はじ
会館の職員の方々と翌日の体験活動の先生方の合計12名を迎えての交流会が始ま
りました。学生達は自分の国の食べ物やそれにまつわる文化を紹介し、また、ゲスト
の方々のお仕事のお話などを聞き交流を深めていました。

がつついち
【3月1日】

ごぜんちゅう にほんぶんかたいけんかつどう つく たいけん おこな がくせいたち
午前中は、日本文化体験活動の1つとして、てまり作り体験を行いました。学生達
は、日本のてまりの歴史を聞き、てまりの文化の奥深さに感銘を受けていました。
せんせいがた しどう う じっさい はり いと すず きゅうたい うえ けいかくてき
先生方からの指導を受けながら実際に針と糸を進めると、球体の上を計画的に
かざ さぎょう がくせいたち おも いじょう むちゅう ようす じかんない ぶ じ ぜんいん
飾っていく作業に学生達は思った以上に夢中になった様子でした。時間内に無事全員
じぶん せい じゅうじつ かつどう
が自分のてまりを完成させることができ、充実した活動となりました。

ご ご わだいこ たいけんかつどう おこな はじ せんせいがた たいこ えんそう き
午後は、和太鼓の体験活動を行いました。初めに先生方の太鼓の演奏を聞き、その
ごたいこ たた かた おそ じゅん お ていねい しどう さいご いき あ
後太鼓の叩き方を教わりました。順を追った丁寧な指導によって、最後には息の合っ
えんそう
た演奏ができました。

よる さんかがくせい そつぎょうせい じ む そうちよう あつ
夜には、アスジャの参加学生と、卒業生、事務総長とアスジャスタッフが集ま
へいせい ねんど かつどう はな あ おこな はじ さとう
り、平成26年度のアスジャの活動について話し合いが行われました。初めに、佐藤
じ む そうちよう おお がくせい う い か の う
事務総長から、これまでよりも多くの学生を受け入れることが可能となり、さらに
じゅうじつ かつどう おこな せつめい
充実した活動を行うことができるようになったことの説明がありました。そして、
がくせいたち がくせいたち は やくわり いけん だ
学生達より、学生達がアスジャのために果たせる役割についていくつかの意見が出さ
れました。学生達はアスジャを通して日本についての理解を深められる機会に大変
かんしゃ らいねんどあら はい あたら がくせいたち せんばい ささ
感謝しており、来年度新たに入ってくる新しい学生達を、先輩として支えていきたい
こえ うちぐち あ
という声が口々に上がりました。

がつふつか
【3月2日】

ごぜんちゅう たいいくかん かつどう おこな がくせいたち きょうりよく あ
午前中は、体育館でレクリエーション活動を行いました。学生達は協力し合いな
もんだいかいけつ いど かてい たが そんちよう まな
がら問題解決に挑み、その過程で、互いを尊重することや、チームワークを学ぶこと
こんねんど そつぎょうせい くわ がくせいたち
ができました。今年度はアスジャの卒業生がサポートに加わったこともあり、学生達
あいだ つよ いったいかん う たいへんい ぎ ぶか かつどう
の間に強い一体感が生まれた大変意義深い活動でした。

ご ご ぜんじつ ひ つづ がくせいたち はな あ ぼ ぜんじつ はな あ
午後には、前日に引き続き学生達の話し合いの場がもたれました。前日の話し合い
う へいせい ねんど じぎょう とく がくせい しゅたい きかく うんえい
を受けて、平成26年度の事業のうち、特に学生が主体となって企画・運営するA S
まつ まつ ないよう いけん だ へいせい ねんど しん き
E A N祭りについて、その内容について意見が出され、また、平成26年度の新規
じぎょう じっし よてい にほんきぎょうりかいそくしんじぎょう ないよう がくせいたち おお
事業として実施される予定の日本企業理解促進事業の内容についても、学生達から多
あん だ
くの案が出されました。

学生感想

タイ男子学生

今回、手まりに初めて触れました。手まりの先生が手まりの基本パターンを指導してくださいました。やっと自分なりの手まりが出来上がりました。女性の手芸のようですが、体験してみると好きになりました。機会があれば、手まり作りをまたやりたいと思います。

和太鼓体験についてですが、基本の打ち方を教えていただきました。今回2回目の体験でした。留学生がこのような豪華な楽器を体験する機会を頂けるのは光栄なことだと知っています。

レクリエーションは、チームワークで働かなければいけない活動でした。引間先生は頭を使うゲームを提供してくださいました。みんなでゲームの問題を解決するようにしました。その結果、みんなはチームワークで働くことを学びました。

カンボジア男子学生

私はカンボジアのデザートを作った。料理を作るとき、私は他のチームも手伝った。今回の合宿は学生数が少なかったが、皆一生懸命料理を作った。今年は国立女性教育会館の関係者の方々や、和太鼓の先生、てまりの先生がお客様として参加された。料理のほとんどがからかったが、全部食べてくださった。一般的に日本人は辛い料理が苦手だが、全部食べてくださり、素晴らしいと思う。食べてくださった理由には作った人への思いやりがあると感じたからである。私は懇親会とき、日本人のお客様といろいろなことを話した。美味しい料理をたべながら会話して、楽しかった。

インドネシア女子学生

Recreational was my second experience. Both experience was fun, I enjoyed it so much. The teacher, Hikki sensei could make us moved our body so it's become interesting but actually the main point of those games is how we make a good cooperation with all the team members.

For outcome of student meeting, I was glad to hear that ASJA has a new budget for next term and I totally agree Sato sensei's idea about how ASJA recruited the new ASJA student. In my opinion, it's better to define that ASJA program is different from MEXT program.

インドネシア男子学生

From JAXA Earth Observation Center I learned that satellite has very important roles in disaster management. It provides data of affected area hit by certain disaster such as typhoon or earthquakes. Therefore it can help minimize the victim and look for safer place for the refugee.

ASEAN dishes activity was a great opportunity to serve and introduce Japanese people about ASEAN countries. Although Japan has its own style on foods, it is very rare of opportunity to enjoy ASEAN foods. I hope they like it.

Temari handball activity was a very difficult task. At first this kind of activity seemed not interesting. But when I watched the Temari that they produced, it was full of art and passions.

フィリピン女子学生

In the recreational activity I learned sportsmanship and teamwork. The activities required us to participate and developed Psychological and physical strength. I had so much fun and it is good that all of us did our best to contribute ideas on how to make the activity easier. This activity unites each ASEAN countries.

It is good to know that ASJA now has a new budget and a new batch of students will come this fiscal year. There are some problems and solutions discussed like some students having difficulties in attending ASJA's activities. One of the things discussed in the meeting by Sato sensei is about visiting some Japanese companies. The objective of this activity is for us to know about the culture in Japanese company that may soon provide some of us opportunities for work.

フィリピン男子学生

The second activity that we had is Taiko playing. Each ASJA members were able to play with their own set of taiko. The rhythmic pattern of hitting the drum was difficult to follow at first but eventually we were able to get it. Two groups of taiko drummers demonstrated their routine. The first group was composed of children and the second group was composed of adults. It's amazing that the drummers come from different age generation. Most surprisingly, the number of girls offsets the number of boys. Also, I noticed how disciplined the children are. Right after the session, the children arranged the stage on their own without the sensei or their parents' instructions. I guess this discipline is linked to how they were trained in playing taiko.

1日目



JAXAの説明を聞く学生たち



「だいいち」による写真を見る学生たち



アセアン料理交流会の準備風景



できあがった料理(一部)

2日目



てまり作り体験の様子



てまりの完成



太鼓鑑賞の様子



太鼓を打つ練習



話し合いの様子1

3日目



レクリエーション活動



レクリエーションを終えて



話し合いの様子2

タイ女子学生

学生ミーティングでは、アスジャについての新しい情報を教えてもらった。例えば、来年度学生数が変わることや来年度の活動などについてである。来てくださった先輩たちからはアスジャの活動の良い点を教えてもらった。また、アスジャの活動に関する良い点や問題点をディスカッションできた。次回の活動はもっとうまくやるため、皆の意見を募集することこそ重要である。

アスジャのメンバーになってからほぼ1年の間に様々なアスジャ活動に参加してきた。各活動では日本語、日本文化についての知識が深まったばかりでなく、日本人にたくさんお会いできた。また、チームワークの大切さを学び、自分の国の文化を広める機会にも恵まれ、さらに、東南アジアの文化についての知識も増えた。活動に参加すればするほど、日・タイの架け橋になりたいと思う。参加しなければ、後悔するわけである。

ミャンマー男子学生

It was an exciting trip and a very nice experience. I have a break from my boring and tedious studies and a chance to meet with my friends. I had chance to experience dishes from other countries, observe Earth Observation Agency and learned about satellites, learned Temari balls, played Taiko drum and play with my friends. I'm sure that I'll be missing this trip a lot.

カンボジア女子学生

Temari handball has a history of more than 1200 years old. I am glad that so many kind elders ladies from the NPO came to teach us how to stitch various colorful wire on the ball. With limited hours, I am satisfied that we can accomplished making beautiful handballs. The already made sample balls were beautifully designed and I think it took them hours of patient, and creativity.

Japanese drum experience got me to see the excitement and enthusiasm that each players ranging from little children to adult have on playing the equipment. They were not just merely performing, but they were doing what they love with full attention. It was a good experience for me to pay the same hard effort to do my job.

ベトナム男子学生

The Japanese drum experience after that was really interesting. There were performances being shown from children and adult drum groups separately. They were all excellent and I was more impressed by the children group. We were also taught how to play a simple performance. It was a little bit hard but we all had a lot of fun.

During the recreation, we were taught the very exciting games, all required the cooperation between the students. I learned that these games are very good to develop our teamwork, and to bring people closer. It is much different than what young people are playing in my country.

ラオス男子学生

まず、JAXA地球観測センターを見学してきました。この施設は、衛星を利用して地球を観測する業務を行う場所です。具体的に言いますと、衛星からの観測データを受信し、地球の検査やデータ処理の作業をする現場です。展示室には、数多くの衛星の展示を観ることができました。そして、気象衛星に関することや同センターの業務を説明してもらいました。とてもわかりやすく充実した内容で、大変勉強になりました。

ASEAN料理交流会では、ミャンマーのチームに教えてもらいながら、ミャンマー料理を作ってみました。そして、交流会では、みんなで作った料理を食べながら、NPO法人日本てまり文化振興協会の方々やアスジャ学生同士で色々なことを話しました。食べ物もとても美味しく、素晴らしい時間を過ごせました。この交流会の中では、海外経験や国々の食べ物について語り合えるのが印象的でした。

かんけいしゃ ひょうけいほうもん
アスジャ・ASCOJA関係者の表敬訪問
へいせい ねん がつ にち もく がつ にち きん
【平成26年3月27日(木)、3月28日(金)】

かんけいしゃ だいひょう りじ だいり さとう じ む そうちょう にち あ べ しんぞう ないかく
アスジャ・ASCOJA関係者を代表して、アスジャ理事（代理）及び佐藤事務総長が、27日には安倍晋三内閣
そうりだいじん きたやまていすけ いざいどうゆうかいふく だいひょうかんじ みつ いすみと もぎんこうとりしまりやくかいちょう にち みむらあきおにほんしょうこうかいぎしよ
総理大臣と北山禎介経済同友会副代表幹事（三井住友銀行取締役会長）を、28日には三村明夫日本商工会議所
かいとう ひょうけいほうもん
会頭を、それぞれ表敬訪問しました。

りじ およ だいひょう りじ りじ へいせい ねんど せいふ
アスジャ理事及びASCOJAを代表してグエン・ゴック・ビン理事とウ・ミン・ウェイ理事から、平成26年度政府
よさん たい きよしゆつきん あら けいじょう じぎょう じゅうじつ じっし かんしゃ い の
予算でアスジャに対する拠出金が新たに計上され、事業がさらに充実して実施できることへの感謝の意が述べら
れ、なごやかな雰囲気では進み、最後に記念撮影をしました。



北山経済同友会副代表幹事表敬訪問



三村日本商工会議所会頭表敬訪問

だい かい りじ かい かんぶかい
第28回アスジャ理事会、ASCOJA幹部会
およ へいせい ねんど しゅうりょうしき
及び平成25年度アスジャ修了式
へいせい ねん がつ にち きん
【平成26年3月28日(金)】

へいせい ねん がつ にち きん しんじゅくけいおう だい かい りじ かい かんぶかい およ へいせい
平成26年3月28日(金)、新宿京王プラザホテルにて、第28回アスジャ理事会、ASCOJA幹部会及び平成2
ねんど しゅうりょうしき おこな りじ かい かつくりじ がいむしょうかんけいしゃ むか
5年度アスジャ修了式が行われました。理事会では、各国理事、外務省関係者、ASCOJAオブザーバーを迎え、
へいせい ねんど じぎょうけいこう およ よさん あん はな あ かんぶかい ひら
平成26年度事業計画及び予算案などについて話し合われました。ASCOJA幹部会では、ベトナム・ハノイで開かれ
だい かい そうかい ないよう かくにん へいせい ねん けいかく はな あ
た第20回ASCOJA総会の内容を確認し、ASCOJAのウェブサイトや平成27年のASCOJAの計画について話し合われま
へいせい ねんど しゅうりょうしき ぎちようだいり さいご しゅうりょうせい
した。平成25年度アスジャ修了式では、フィリップ・サンビクトレス議長代理より、最後のアスジャ修了生
めい しゅうりょうしょうしよ じゅよ しょうがくせい かつどう ふ かえ ひろう
となる3名に修了証書が授与され、それぞれがアスジャ奨学生としての活動を振り返り、スピーチを披露しま
しゅうりょうせい ぐわ こくひりゅうがくせい かつどうほうこく おこな
した。修了生のスピーチに加え、アスジャ国費留学生による活動報告も行われました。

しゅさいしゃ だいひょう ぎちようだいり あいさつ はじ らいひん だいひょう
レセプション・パーティーは、主催者を代表してのサンビクトレス議長代理の挨拶から始まり、ご来賓を代表
ふくだたつ おしゅうぎんぎいん あいさつ がいむしょうだいじんかんぼううらばやし しんじじんぶつこうりゅうしつちよう おんど かんばい おこな
して、福田達夫衆議院議員にご挨拶を頂戴し、外務省大臣官房浦林紳二人物交流室長の音頭で乾杯が行われま
こ がくせい かつくりじ かんけいしゃ あいだ こんだん おこな ひ かつどう さいご しゅうりょうせい
した。その後、学生と各国理事や関係者の間で懇談が行われ、この日でアスジャの活動が最後という修了生た
どうき こうはい わか お なか しゅうりょう
ちも同期や後輩たちとの別れを惜しむ中、レセプションが終了しました。

理事会の様子(左上)
ASCOJA幹部会の様子(中上)
フィリップ・サンピクトレス議長
代理による修了証書の授与(右上)
外務省大臣官房浦林紳二人物交
流室長(左下)
福田達夫衆議院議員(中下)
レセプションの様子(右下)



修了生のメッセージ

マレーシア女子学生

早稲田大学大学院修士課程（専門：生命理工学）修了後、
日本マイクロソフト株式会社に就職

アスジャの交流活動の中で、特に印象に残ったものの1つは、長崎での日本生活体験研修でした。長崎原爆資料館で原爆戦争の恐ろしさを知り、また、残された被爆者の話を聞くことができ、大変貴重な経験になりました。

そのほか、日本人の幅広い世代と交流する機会が多くありました。そこから、日本人は自分の国や社会に対してとても熱意があり、次世代や将来のために頑張っていることを学びました。

4月1日から、自分の言語力や今まで学んだことを活かせる日本マイクロソフトに就職することを決めました。日本での4年間は、言語、文化、習慣など違うところがたくさんあってとても大変でしたが、本当に貴重な経験でした。一番重要なのは、自分ができるうちに、若いうちに、日本でしかできないことにたくさん挑戦することだと思います。後輩の皆さんも周りのチャンスを逃さないでください。ありがとうございました。

シンガポール女子学生

早稲田大学大学院修士課程（専門：ビジネス）修了後、
シンガポールで漫画とデザインの会社を起業

アスジャでの活動と日本の教育機関での勉強がこれからの仕事に役に立ちます。まず、フェスブックで「Evacomics」というページを設立してから、日本とシンガポールの文化の違いを描いたマンガを毎週月曜日に発表しています。マンガはアスジャでの活動やオフィスの日本人との交流等に基づいて描きました。現在約6割の読者はシンガポール人です。この中には、日本に住んだことがある外国人や、留学生等、日本が大好きな外国人が多いです。読者たちと私の間で、意見や経験等を交換しながら、お互いに日本の文化をもっと分かるようになりました。また、日本で撮った写真の中で面白いと思ったものを公開して、日本での生活を記録しています。時には読者から日本の観光についての質問があって、情報やアドバイスを送りました。こうして私も、自分の国だけではなく、海外の国と日本の友好関係の架け橋として貢献できると思います。

タイ男子学生

大東文化大学大学院修士課程（専門：日本語文化学）修了後、
タイで日本語教師

私は、アスジャの日本語教育についてお話ししたいと思います。まず、日本の大学院に進学するた

じゅうぶん にほんご のうりよく よびきょういく ふか かつ しょうがくせい いちねんめ とうきょうにほんごきょういく
 めには、十分な日本語の能力と予備教育が不可欠でした。アスジャ奨学生として、一年目は東京日本語教育
 にほんご きほんてき ちしき まな たと じょうきゅうにほんご にちえいほんやく にほんじじょう にほんご けんきゅう
 センターで日本語と基本的な知識を学びました。例えば、上級日本語、日英翻訳、日本事情、日本語で研究
 けいかくしょ さくせい けんきゅうはつびょう かた きほんてき がんば まな じしん も
 計画書を作成すること、研究発表のやり方などでした。これらの基本的なものを頑張って学んだら、自信を持って
 じぶん ちから だいがくいん い ねんかん なか とうきょうにほんごきょういく べんきょう ひじょう
 自分の力で大学院に行けるようになりました。この4年間の中でも東京日本語教育センターでの勉強は非常に
 じゅうじつ おも
 充実していたと思います。
 しょうらい わたし きこく にほんごきょうし にほん まな ちしき かつどう とお つ けいけん
 将来、私は帰国してから日本語教師になります。日本で学んだ知識、アスジャ活動を通して積んだ経験などをタ
 じん せいねん せいと おし こうけん しょうらいにほん か はし ひと つと おも
 イ人の青年の生徒たちに教えて貢献することは、将来日本とタイの架け橋として一つの務めだと思います。
 せ わ かたがた かんしゃ きも わす
 お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れません。どうもありがとうございました。

カンボジア男子学生

東京大学大学院博士課程（専門：国際協力学）で研究を継続

わたし かつどう とお にほん れきし にほんじん せいかく し たと にほん なが
 私はアスジャの活動を通して、日本の歴史と日本人の性格をより知ることができました。例えば、日本は長い
 れきし なが なか ゆた ぶんか く にほんじん よ ぶんかいさん まも べんきょう
 歴史の流れの中で、豊かな文化をはぐくんできた国です。また、日本人は良く文化遺産を守ると勉強しました。こ
 まな わたし こく ほんとう じゅうよう けいけん おも
 れらのことを学べたのは、私の国にとって本当に重要な経験だったと思います。
 わたし きこくご だいがく しげんせいじ ひがし れきしきょうし はたら さまざま けいけん
 私は帰国後、プノンペン大学で資源政治と東アジア歴史教師として働きます。アスジャで様々な経験ができた
 たん にほんご にほん れきし ぶんか つた おも にほん れきし ぶんか せいじ
 ため、単に日本語だけではなく、日本の歴史や文化を伝えることができます。日本の歴史や文化、政治を
 りかい にほんご まな うえ にほん さら きょうりよく かいはつ ひじょう やくだ おも
 理解することは、日本語を学ぶ上でも、日本とカンボジアの更なる協力と開発のためにも非常に役立つと思いま
 だいがくいん まな ちしき とうなん しげんかんり ちしき ろんぶん さくせい じゅぎょう ちしき にほん
 す。また、大学院で学んだ知識、東南アジア資源管理についての知識、論文を作成するための授業の知識、日本の
 せいど べんきょう ぼこく どうにゅう い おも だいがく しげんせいじ ひがし
 ゼミ制度も勉強することができましたので、母国に導入して活かせると思います。大学で資源政治と東アジア
 れきし おし にほん ゆうこうかんけい ばし りょうこく ほんえい こうけん がんば
 歴史を教えながら、カンボジアと日本の友好関係のかけ橋として両国の繁栄に貢献できるよう、頑張ります。4
 ねんかん ほんとう
 年間、本当にありがとうございました。

平成26年度アスジャ国費留学生オリエンテーション

へいせい ねん ど こくひりゅうがくせい
 へいせい ねん がつ にち きん がつ にち ど
 【平成26年4月25日(金)～4月26日(土)】

がつ にち きん ふつかかん こくりつ きねんせいしやうねんそうごう がつしゅくけいしき へいせい
 4月25日(金)から2日間にわたって、国立オリンピック記念青少年総合センターにて、合宿形式で平成2
 ねん ど こくひりゅうがくせい ひら さとうじむ
 6年度アスジャ国費留学生のためのオリエンテーションが開かれました。オリエンテーションでは、佐藤事務
 そうちょう がいよう せつめい こんねん ど こくひりゅうがくせい さんかじぎやう はなし せんばい こくひ
 総長より、アスジャの概要の説明と今年度の国費留学生の参加事業について話がありました。また、先輩の国費
 りゅうがくせい しゅうりょうせい にほん せいかつ かつどう まな けいけんだん わ あ
 留学生とアスジャ修了生から日本での生活やアスジャの活動で学んだことについての経験談が分かち合われまし
 ふつかめ ごご こんねん ど じぎょう み とく がくせい しゅたい うんえい まつ
 た。2日目の午後には今年度の事業についてのDVDを見て、特に学生が主体となって運営するアセアン祭りについて
 せつめい おこな あたら こくひりゅうがくせい りゅうがくせいかつ せんめい おも えが
 の説明が行われ、新しい国費留学生はこの留学生生活をより鮮明に思い描くことができました。



説明を聞く新入生たち



交流会の様子



体験談を話す先輩学生

へいせい ねんど こくひりゅうがくせい かんげいかい
平成26年度アスジャ国費留学生歓迎会
 へいせい ねん がつこのか きん
【平成26年5月9日(金)】

とうきょうに ほん ごきょうい く がくせい へいせい ねんど こくひりゅうがくせい かんげいかい おこな がくせい
 東京日本語教育センター学生ホールにて平成26年度のアスジャ国費留学生の歓迎会が行われました。学生
 めい しんにゅうせい めい せんぱいがくせい めい しゅうりょうせい めい さとう じ む そうちよう じむきょくしよくいん めい しゅつせき
 25名(新入生18名、先輩学生7名)、修了生3名、佐藤事務総長、事務局職員3名が出席しました。ま
 らいひん おお かたがた しゅつせき いただ さとう じ む そうちよう あいさつ の がいむしょうだいじんかんぼう
 た、来賓として多くの方々のご出席を頂きました。はじめに、佐藤事務総長が挨拶を述べ外務省大臣官房
 うらばやししんじじんぶつこうりゅうしつちよう しゅくじ いただ つづ めい しんにゅうせい にほんご けんきゅうないよう にほん
 浦林紳二人物交流室長よりご祝辞を頂きました。続いて、18名の新入生が日本語で研究内容や日本の
 いんしょう にほん せいかつ いきご じこしょうかい ゴ もんぶかがくしょうこうとうきょうい ぎょくがくせい
 印象、日本での生活の意気込みなどについて自己紹介をしました。その後、文部科学省高等教育局学生・
 りゅうがくせいかやまぐちけいせいせんもんかん あいさつ たじまり じ かんぱい あいさつ かんたん あと せんぱいがくせい
 留学生課山口敬一専門官にご挨拶をいただき、田島理事の乾杯の挨拶によりしばらく歓談した後、先輩学生より
 かんげい がっしょう ひろう かんげいかい しゅうりょう
 歓迎のスピーチと合唱が披露され、歓迎会が終了しました。



先輩の歓迎の合唱



歓談の様子



集合写真

アスジャ事務局だより

◆◆学生達の様子◆◆

4月より新たに国費留学生を18名迎え、大変にぎやかです。今後のアスジャの事業を楽しみにし、また積極的に参加しようとする姿勢が見られます。

◆◆ 退任のご挨拶 ◆◆

このたび、3月でアスジャを退職させていただくこととなりました。2年間という短い間でしたが、とても充実した時間を過ごさせていただきました。

在職中は、外務省、文部科学省の皆様をはじめ、アスジャ理事の皆様、関係組織、団体の皆様、ボランティアの方々など、東南アジア及び日本の幅広い地域の多くの方々にご大変お世話になりました。このように国際交流に献身されている多くの方々に会うことができたことにより、私自身の国際交流に対する理解が大幅に深まりました。

国際交流は、それに関わる一人ひとりの方々の熱意と献身、心づくしによって成り立っているのだということを、この2年間を通して強く感じました。人と人との、心と心のつながりの上に、組織同士、国同士の絆も育まれるのだということを目の当たりにした思いでした。

2013年9月、ベトナムのハノイで開かれたASCOJA総会に出席した際には、約380人もの元日本留学生の方々が東南アジア各国から集い、日本と東南アジアの協力、発展についてともに考え、交友を深めていらっしゃる様子を見て、日本人として胸が熱くなりました。これからも、このように築かれてきた心と心の絆が、日本でも東南アジアでも大切にされ続けていくことを願ってやみません。

最後に、日々細やかなご支援をいただいている東京日本語教育センターの皆様、佐藤事務総長、アスジャの学生たち、卒業生たち、そしてともに働いてきましたアスジャのスタッフの一人ひとりにも、心からお礼を申し上げます。(村上香織)

◆◆ 退任のご挨拶 ◆◆

1年9か月の間、アスジャの一員として過ごさせていただいたこと、本当に幸せでした。

佐藤事務総長をはじめ事務局スタッフの皆様、いつも助けてくださった東京日本語教育センターの皆様、アスジャを支えてくださる外務省関係者の皆様、アスジャ理事の皆様、各国帰国留学生会関係者の皆様、そのほかお世話になった多くの皆様、そしてアスジャ卒業生の皆様、国費留学生の皆様、本当にどうもありがとうございました。感謝の気持ちでいっぱいです。

アスジャが今後ますます発展していきますように、心から応援しています。(片山久美子)

◇◇ 今後のスケジュール ◇◇

- < 8月 > ホームステイ(栃木県小山、静岡県福田)
日本の大学生等との交流事業
- < 9月 > 福島県那須甲子ボランティア
アセアン文化交流事業: アセアン祭り
- < 11月 > 日本文化体験活動
- < 12月 > 日本生活体験研修

◇◇編集後記◇◇

アスジャ事務局は職員が一新し、新体制での運営を行っています。新入生同様、新鮮な気持ちでアスジャの事業を盛り上げていこうと思います!

次号(28号)は2014年12月に刊行予定です。ASJAニュースレターに関するご意見、ご要望、など皆様からのお声を、ASJAニュースレター編集担当・有馬までメール(info@asja.gr.jp)にてお聞かせください。